

2025

1

令和7年1月号



県民のあゆみ

介護ステーション



- 特集1 介護の未来を支える人材の確保に向けて P.02
- 特集2 雪害事故から身を守るために P.04
- 特集3 令和5年度の決算がまとめました P.05
- 奏であう人 P.08 / 潜入レポート！ P.16

特別養護老人ホームで働くミャンマー出身の技能実習生のお二人と、指導担当の介護課長の鈴木さん。最新技術も活用し、質の高い介護の提供に取り組んでいます。
(撮影場所:さくらホーム天童)

※撮影時のみマスクをはずしています。

表今
紙月
の
□



介護のプロの技術と内面
マイ ダイアリー
を紹介する「My Diary」
動画はこれら

県内で働く現役の介護職員への取材を通じて、介護の仕事、やりがいなどを紹介しています。

介護の仕事の魅力発信

介護の仕事は、ケアを通じて利用者の生活を豊かにする、やりがいのある仕事です。資格がなくても、未経験でも挑戦でき、実務経験や研修などにより、資格取得をはじめキャリアアップを目指すこともできます。

介護の仕事の魅力を伝えるため、県では、高校生や大学生などを対象に、「やまがたK.A.i.G.O.」のしごと出前講座を実施しています。講師とは、現職の介護職員などが講師となり、実体験をもとに仕事内容ややりがいなどを紹介するもので、令和5年度には延べ490名が参加しました。また、動画でも介護の仕事の魅力を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

山形県介護生産性向上総合支援センター

【支援内容】
相談窓口・伴走支援、介護ロボットなどの試用貸出、研修会の開催など

☎023-664-2778 受付時間 月～金 9:00～17:00



センター長 寒河江貴子さん

ケアに集中できる現場づくり

県では、今年度「山形県介護生産性向上総合支援センター」を開設し、最新技術などを活用して、介護サービスの質の向上と、働きやすい介護現場づくりを同時に進めています。

同センターでは、専門家が介護事業者を訪問して課題の特定から解決までをサポートする伴走支援や、介護事業者からの相談対応、介護テクノロジー機器の効果的な活用方法や介護現場の業務効率化の方法などを学ぶ研修会などを行っています。



悩みごと、困りごとは
「山形県外国人介護人材支援センター」に相談!
☎023-676-5456
受付時間 月～水 9:00～17:00

介護現場の人手不足を背景に、本県でも介護職員として働く外国人材は増加し、令和6年度には268名が活躍しています。

同センターでは、「山形県外国人介護人材支援センター」を設置し、外国人介護職員本人と、就労先である介護事業者に対して、巡回相談の実施や相談窓口の設置などにより県内定着に向けた支援を行っています。

同センターでは、介護事業者や外国人介護職員へのニーズ調査を踏まえ、今年度新たに、長期就労が可能となる国家資格「介護福祉士」合格に向けた支援や、本県の歴史や文化、公共交通機関の乗り方などを学ぶ交流会を開催しています。

地域生活学習交流会



昨年実施した交流会では、外国人介護職員の皆さん、地域の歴史や文化のほか、地域連携ICカード「cherica」を利用したバスの乗り方などを学びました。

本県の質の高い介護サービスを支えているのは、介護現場で働く職員の皆さんです。県では、引き続き、多様な人材の育成・確保と、働きやすい介護現場づくりに取り組んでいます。

質の高い介護を守るために

ぜひご覧ください!
県政テレビ番組
いき☆いきやまがた
放送のご案内
「介護の仕事の魅力」と題して県内民放4局で特別番組(30分)を放送します。
●1月5日(日)午後4時～
山形放送(YBC)
●1月12日(日)午後2時～
さくらんぼテレビ(SAY)
●1月19日(日)午後4時～
山形テレビ(YTS)
●1月25日(土)午後3時55分～

放送時間は変更になる場合があります。

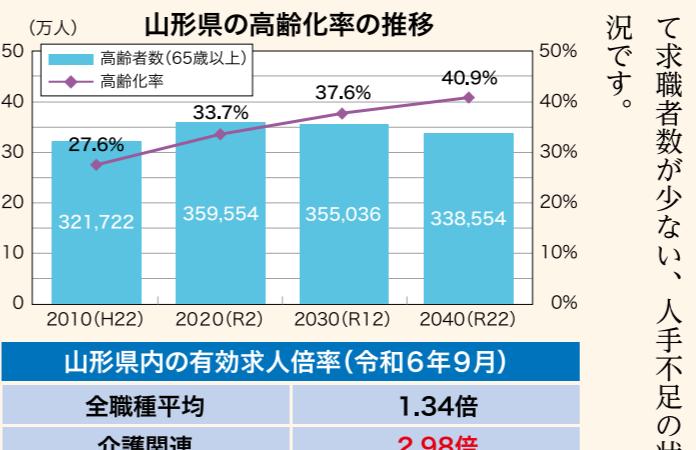
▶問い合わせ ◎ 高齢者支援課 ☎023-630-2189

特集 介護の未来を支える人材の確保に向けて



写真のさくらホーム天童(さくら福祉会)は、働きやすい職場づくりに取り組み、県の「ダイヤモンドスマイル企業」にも認定されています。

高齢者一人ひとりがいきいきと安心して暮らせる山形県を目指し、県では介護サービスを支える人材の確保に取り組んでいます。



需要は高まる見込みです。一方で、介護サービスを支える介護職員の有効求人倍率は、全職種の平均を大きく上回り、求人倍率に対して求職者数が少ない、人手不足の状況です。

私たちが、慣れ親しんだ地域で安心して暮らし続けるためには、質の高い介護サービスは欠かせません。全国的に少子高齢化が進む中、本県でも高齢化率が上昇しています。本県の総人口に占める高齢者の割合は、2040年には約41%に達すると推計され、今後も介護サービスの需要は高まる見込みです。

心して暮らし続けるためには、質の高い介護サービスは欠かせません。

これまでと同様の質の高い介護サービスを持続していくためには、介護を担う多様な人材の育成や確保が必要です。

働きやすい環境づくり

県では、介護職員の育成や確保、定着、離職防止に向けて、「山形県介護職員サポートプログラム」を策定し、5つの柱を定め、関係機関と連携して総合的に支援を行っています。

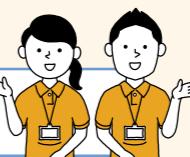
今回は、その中から今年度特に力を入れている取組みを紹介します。

山形県介護職員サポートプログラム

- ① 理解促進（出前講座、情報発信など）
- ② 育成・確保（修学資金貸付、外国人材受入支援など）
- ③ 定着・離職防止（相談窓口の設置など）
- ④ 介護技術・知識向上（研修会の開催など）
- ⑤ 雇用環境の改善（デジタル技術の活用など）



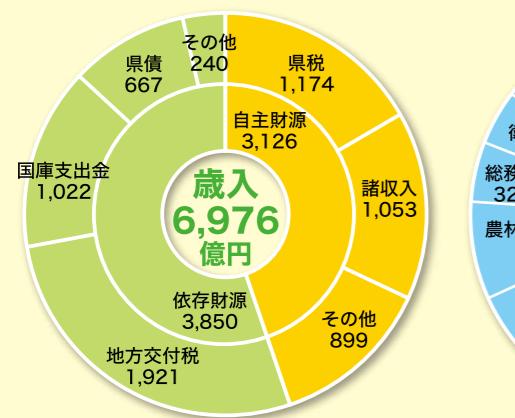
介護職員が働きやすい環境づくり



令和5年度の決算がまとめました

一般会計

一般会計の決算額は、歳入が6,975億9,588万円、歳出が6,870億2,809万円で、歳入歳出差引額(形式収支)は105億6,779万円の黒字となりました。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を控除した実質収支は、61億5,187万円の黒字となりました。

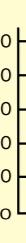


決算額の推移



決算額は、前年度と比較して、歳入は399億円、歳出は376億円減少しましたが、コロナ禍前の令和元年度より大きく、歳入・歳出ともに過去20年で4番目に大きい規模となりました。

調整基金残高の推移



5年度末の調整基金(財政調整基金および県債管理基金)の残高は、前年度と比較して41億円増加しました。

令和5年度の主な取組み

- 第4次山形県総合発展計画の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、さまざまな分野でのリスクリング(学びなおし)といった「人」への投資を盛り込み、ポストコロナの県づくりを推進する視点を重視しながら各種施策を推進
- ポストコロナへの対応をはじめ、学校における熱中症対策、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援なども実施

県債残高の推移



5年度末残高は、前年度と比較して174億円減少しました。また、「その他の県債(グラフ内、緑の部分)」残高が2年度末残高を下回るという行財政改革プランの目標を達成しました。

公営企業会計

公営企業4事業会計の合計で、総収益は135億2,058万円、総費用は105億9,829万円となり、純利益は前年度に比べ4億8,937万円減少し、29億2,229万円となりました。

これは、小国町明沢川地点における水力発電所建設の中止に伴う特別損失の計上などにより、電気事業の費用が増加したことなどによるものです。

各事業会計別の決算の状況

項目	電気事業	工業用 水道事業	公営企業 資産運用事業	水道用水 供給事業	合 計
総収益	6,466	579	147	6,328	13,521
総費用	4,457	454	118	5,570	10,598
純利益 (対前年度 増減)	2,010 (△553)	126 (38)	29 (4)	758 (22)	2,922 (△489)

※単位未満を四捨五入しているため、合計や差し引きが一致しないことがあります。

問い合わせ

一般会計 会計局会計課……☎023-630-2716 ※調整基金、県債については総務部財政課……☎023-630-2044
公営企業会計 企業局総務企画課……☎023-630-2735 病院事業会計 病院事業局県立病院課……☎023-630-3104

危険が
いっぱい!

雪害事故から身を守るために

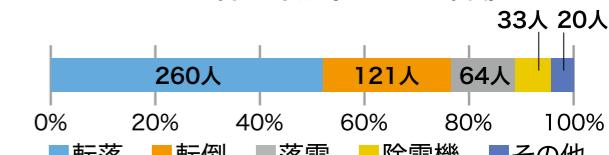
■県内における雪害事故の状況

過去5年間での雪害事故による死傷者は、死亡者30名を含む498名で、そのうち高齢者(65歳以上)が約6割を占めています。

原因別では、屋根などからの転落が全体の約5割となっています。

雪害事故の原因

過去5年間の状況(R1～R5年度)



安全な雪下ろし作業8つのポイント

2人以上で!周囲にも注意!

- 事故に備えて2人以上で作業しましょう。
- 軒下の人や電線にも注意しましょう。

命綱を使いましょう!

- 安全帯などを使用し、命綱を付けましょう。
- 命綱はザイルや麻ロープを使いましょう。

使いやすい除雪道具を!

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップなどを使用しましょう。

無理な作業はやめましょう!

- 体調が悪いときは避けましょう。
- 十分に休憩を取りながら行いましょう。

安全な服装で!

- ヘルメットを正しく着用し、動きやすい服装にしましょう。

はしごはしっかり固定!

- はしごはロープで建物に固定し、足元をしっかりと固めましょう。

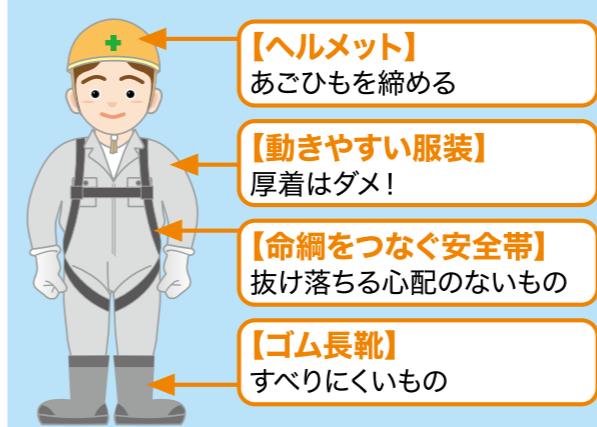
屋根の雪のゆるみに注意!

- 暖かい日は、屋根の雪がゆるんで転落の危険性が高まるため、天気予報を確認しましょう。

順序を守って、足場は特に注意!

- 屋根の上部から順に雪を下ろしましょう。
- 雪止めの上に足場を作りましょう。

雪下ろしの安全な服装



雪下ろしや除雪作業に役立つ情報

安全に冬期間を過ごすためには、こまめな情報収集が大切です。冬期間の生活に役立つ情報を以下のホームページで随時発信していますので、ご活用ください。

また、命綱を住宅に固定するためのアンカー設置は、市町村の「住宅リフォーム補助金」の対象です。お住まいの市町村へご相談ください。

大雪警報の発表状況などを調べる

降雪量の予測などについて調べる

雪下ろしのタイミングを調べる



▶問い合わせ ◎ 防災危機管理課 ☎023-630-2230

Kensei
Topics
1

鏡選手、パリオリンピックの感動をありがとう！

山形県県民栄誉賞贈呈式(令和6年11月24日 山形市)

かがみ ゆう か
山形市出身の鏡優翔さんに、吉村知事から「山形県県民栄誉賞」を贈呈しました。鏡さんは、昨年開催されたパリオリンピックの女子レスリング76kg級で、女子最重量級では日本初となる金メダルを獲得しました。また、これまでにも、国内はもちろん、2022年の世界選手権大会3位、2023年の世界選手権大会優勝など、世界の舞台で活躍し、県民にたくさんの希望と活力を与えてくださっています。鏡さんの今後ますますのご活躍をお祈りします！



Kensei
Topics
2

地域をつなぐ高規格道路

高規格道路「新庄古口道路(10.6km)」全線開通(令和6年12月7日)

新庄市から戸沢村に至る新庄古口道路は、最上地域と庄内地域を結ぶ国道47号と並行し、新庄・酒田間を結ぶ高規格道路「新庄酒田道路」の一部を構成します。今回の開通により、沿線地域において、大雨などの災害に強い道路ネットワークが構築されるとともに、県立新庄病院への救急搬送時間の短縮など、さまざまな効果が期待されます。県では、引き続き、本県の高規格道路ネットワークの早期完成に向けて取り組んでいきます。



提供：国土交通省山形河川国道事務所

Kensei
Topics
3

アランマーレ山形、念願のSVリーグ初勝利！

アランマーレ山形 vs KUROBEアクアフェアリーズ(令和6年11月9日 富山県黒部市)

国内トップリーグであるSVリーグに参戦しているアランマーレ山形は、今シーズンの9試合目をアウェーの富山県で戦いました。試合の序盤から、粘り強い守備と得意のサーブで流れをつかんだアランマーレ山形は、その後も着実に得点を重ね、見事3-0でSVリーグ初勝利を収めました。創部から10年目という節目を迎える今シーズンも、引き続きアランマーレ山形らしい全員バレーで大いに力を発揮されることを期待しています。



© Aranmare YAMAGATA

特集 ラーメン県そば王国やまがた

つい食べたくなるラーメンとそば

寒空で冷えた体を温める、至福のラーメン。村山地域はまろやかな甘味が特徴の牛骨スープを使ったラーメン、最上地域は食感が楽しい“とりもつ”をトッピングした「とりもつラーメン」、置賜地域は鶏ガラスープに細い縮れ麺が特徴の「米沢ラーメン」、庄内地域は魚介系スープに自家製麺を合わせた「酒田のラーメン」など、県内各地で特徴的なラーメンを楽しめます。



各市町村の
ラーメン・そば
情報はこちら



山形県はそば街道が13か所もあるなど、そば処として全国的に知られ、地元はもちろん県外のそばファンからも支持されています。老舗や名店が数多くあり、昔ながらの素朴な店構えや、長年培われた打ち方・ゆで方・つけ、素材へのこだわりなど、各店とも個性豊かです。



板そば

月山山菜そば

ロゴマークも決定!!



全国から100件を超える応募があり、選考の結果、ロゴマークはこちらの作品に決まりました!

ラーメン県そば王国の魅力を発信！

県では、県内各地の特色あるラーメン・そばの味を楽しめるイベント「『ラーメン県そば王国』フェスタ in やまがた」の開催や、「ラーメン県そば王国」の名称の商標登録、ロゴマークの公募などを行い、ラーメン・そばの魅力発信に取り組んでいます。

1月は、フラワー長井線ラーメン・そば出前列車の運行、LINEを活用したスタンプラリーの開催など、さまざまなイベントがあります。皆さんの参加をお待ちしています。

最新情報は、LINE公式アカウント「ラーメン県そば王国やまがたサポートーズクラブ」の友だち追加をしてチェック！

LINEの友だち追加は
こちら▶



冬こそおすすめ! 子ども向け屋内施設

寒い冬でも快適に遊べる屋内施設は、小さなお子さんでも安心して楽しめます。

「やまがたわくわく体験ガイド」では、県内各地の屋内遊戯施設や体験施設などを紹介しています。冬のお出かけにも、ぜひご活用ください！

やまがたわくわく体験ガイド▶



山形県産業科学館(山形市)
さまざまな体験コーナーや展示があり、空気、音、電気などの科学の基礎や本県の産業などを楽しく学べます。



クラッピング サガエ
CLAAPIN SAGAE(寒河江市)
目を惹く中央の大型ネット遊具「せかいじゅ」は、日常ではなかなか体験できない浮遊感を楽しめます。

やユニークな「創作こけし」などを次々と打ち出し、県内外から注目されるようになりました。逸見さんが話します。

「以前の売れ筋の土産品といえば、地名入りの有名キャラクターのキーホルダーなどでしたが、今は、山形にしかないもの、山形ならではのいいものが求められています。それに見合う価値を、山形の工芸品は秘めています」。

一方、筈野一刀彫の小山さんと、菊摩呂こけし工房の志田さんは、地域に根付いた工芸品を絶やしたくないとの思いから、工人の道に進みました。小山さんが当時を振



山形の風土に育まれてきた工芸品に新しい要素を加えた商品なども取り扱う、尚美堂エスパル山形店。実演販売など、作り手と買い手をつなぐイベントも開催している。

志田さんがうなずき、言葉をつなぎます。



お鷹ぼっぽの昔の型を再現した「古代ぼっぽ」(右上)、コシアブラの木で作った丸い削り花と槐(えんじゅ)の木で作った鷹を組み合わせた「槐花鳥」(右下)、長寿のお守りの「亀」(左下)など、小山さんの作品は多岐に渡る。



工人になる決意をした志田さんは、父であり2代目の菊宏さんに師事し、2020年に工人としてデビュー。親子でこけしの制作に取り組んでいる。

「私の場合は、家業が菊摩呂こけし工房でしたが、私も当初から興味があつたわけではありませんでした。高校生になり、進路を考えたわけではありません。三人とも同じで、筈野一刀彫が家業だったわけではありません。三人とも高校卒業後に東で就職したもの、いつか米沢に戻り、地元関わる仕事がしたいとの思いを募らせていました。

そんな時に、地元で1200年も続く筈野一刀彫に後継者がいないことを知ったのです。それまで私は工芸品には興味がなかったのですが、伝統を絶やすのはもつたれない、我々が受け継いでいかなければと思い、三人で師匠の元を訪ね、弟子入りを志願しました」。

その頃から、展示即売会などがあれば父に同行し、こけしがどんなものかを知り、少しずつ興味を持ちました。家業を稼げる仕事をは考えていました。父は、私が継ぐことに賛成も反対もしませんでしたが、私が継ぐと決めました」。

今や、引く手数多の若手工人として活躍する一人は、製作の実演やSNSでのPRも積極的に行い、国内だけでなく海外からの視察や注文があるそうです。



奏であう人

vol.79

時代と共に歩む山形の工芸品

山形の工芸品の販売や魅力を伝える取組みを行う逸見良昭さんと、筈野一刀彫りの工人である小山泰弘さん、山形系こけしの工人である志田楓さんに、山形の工芸品の可能性についてお聞きしました。

こ やま やす ひろ
小山 泰弘 さん
(米沢市)

1983年生まれ。米沢市出身、同市在住。30歳を契機に、地元に関わる仕事をしたいと考えていたところ、地元の筈野一刀彫の後継者がいないことを耳にし、幼馴染3人で名工・高橋清雄さんに師事。現在、3人は工人のグループ「筈野一刀彫おたか三兄弟」として活動している。

へん み よし あき
逸見 良昭 さん
(山形市)

1961年生まれ。山形市出身、同市在住。土産品を扱う(株)尚美堂代表取締役社長。工芸品の工人との対話を重ねながら、オリジナル商品をプロデュースし、時代に合わせた新たな商品を提案している。職人が高齢化する、花笠づくりの承継にも取り組む。

し だ かえで
志田 楓 さん
(西川町)

1996年生まれ。西川町出身、同町在住。家業の菊摩呂こけしを絶やしたくないとの思いから、家業を継ぐ決意をする。高校卒業後、デザインや木地挽きを学び、現在は菊摩呂こけし工房の工人として、伝統のこけしやユニークな創作こけしを多数生み出している。

今年で創業から8年を迎える土産品店・尚美堂の三代目として、長年山形の工芸品を扱ってきた逸見さんは、消費者のニーズの変化を肌で感じ取っていました。

そのため、逸見さんは、2015年に山形駅ビルの土産品店を改装するにあたり、新たなコンセプトの店舗にしようと考え、県内各地の工芸品の工人たちの元を訪ねたと言います。

「各地で受け継がれている工芸品は、それまで知らなかつたことを学びました。だからこそ、工芸品に何か新しい要素を加えることで、より多くのお客様に手に取つてもらい、作り手と買い手の橋渡しをしたいと考えたのです」。

尚美堂エスパル山形店は、山形の伝統的な工芸品の今を伝える、セレクトショップとして生まれ変わりました。逸見さんは、工人たちと一緒に商品開発を重ね、従来にない鮮やかな色彩の「お鷹ぼっぽ」

山形の工芸品が秘めた可能性

県議会だより



森田 廣 議長

新年のごあいさつ

皆さまには、輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

県議会では、県民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るために、昨年7月の大震による災害からの復旧・復興や災害に強い県土づくり、物価高騰対策などに全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

決算審査の概要

令和5年度山形県一般会計歳入歳出決算など17決算および決算に関連した5議案は、決算特別委員会における審査を経て、12月3日の本会議において、認定・可決されました。

決算特別委員会の総括質疑における主な内容は右記のとおりです。

全国都道府県議会議長会定例総会が本県で開催

10月31日、山形市内で全国都道府県議会議長会の第179回定例総会が開催されました。総会では自治功労者への表彰のほか、本県の森田廣議長が総会議長を務め、人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議など、計6件の決議と国への提言を決定しました。



都道府県議会議員研究交流大会で山形県議会の取組みを紹介

11月12日、東京都内で研究交流大会が開催されました。「議会が主体的に行う主権者教育の推進について」の分科会には、本県の矢吹栄修副議長がパネリストとして参加し、生徒・学生との意見交換会や「県議会ナビ」の発行、議場演奏会と議会見学会など、本県議会の取組みを紹介しました。



地域議員協議会を開催

11月22日、各総合支庁において、地域議員協議会を開催しました。

それぞれの地域における行政課題や施策展開について、地元選出の県議会議員が幅広く調査・審議し、様々な提案を行いました。



東南村山地域議員協議会の様子

「県議会ナビvol.09」を発行

県議会の役割や活動をわかりやすくまとめた若者向け広報紙「県議会ナビ」の最新号を発行しました。

学生と正副議長との座談会や傍聴体験レポートなどを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

「県議会ナビ」の内容はこちらから



県議会の最新情報
コチラから
今すぐアクセス!



専用の刃物・サルキリを材料となる木に当て、手作業で繊細な彫りを施す 笹野一刀彫。常に大怪我のリスクと隣り合わせである。

小山さんは工人を職とすることの難しさもあると言います。「作業には怪我がつきものですが、加えて、独り立ちまでの収入も不安定です。師匠がすぐに私たちの弟子入りを許さなかつた理由が今ではよくわかります」。

木の調達からが、自らの仕事と話す小山さん。山深くに入っては木を切り出し、乾燥させ、「サルキリ」と呼ばれる大きく鋭い刃物で削り出します。大きな怪我が原因となって、引退する工人もいるそうです。小山さんが話します。

「材料の確保は近年難しくなっています。私たちは、木の幹の太さや曲がり、節などを観察し、笹野一刀彫に適した成本だけを無駄なく切り出します。幼木は将来のために残し、山を荒らしません」。

志田さんがうなずき、話します。

「こけしの材料となる板屋楓の木も近年少なくなっています。家の山で採るほか、業者からも購入しますが、価格が高騰しています」。

二人の言葉に耳を傾けていた逸見さんが話します。



菊摩呂型(右)をはじめ、干支のヘビのコスチュームを着たこけし(左)や、相良人形8代目相良隆馬さんに許可を得て「猫に蝶」(中央)のこけしなどを制作する志田さん。

「伝統的な工芸品は、作る人、技術、材料が揃つてはじめて受け継ぐことができます。後継者が技術の習得に専念できる環境をつくることはもちろんのこと、工芸品の

「お鷹ぱっぽ」は、五穀豊穣を願う農家の守り神が起源だったそうです。時代の流れの中で、玩具、魔除け、縁起物、インテリアなど、求められる用途が変わり、意匠も変わりました。

小山さんの言葉に、従来の伝統的なこけしのほか、ユニークな創作こけしを手掛ける志田さんが応えます。

「私がはじめて好きになつたこけしは、創作こけしだったんです。創作こけしがきっかけで、伝統的なこけしが好きになるファンもいます。こけしは産地ごとの特徴で系統に分けられますが、菊摩呂こ

れでもあります。まずは、多くの方々に、小山さんや志田さんの制作の実演を見たいですね。きっと魅力が伝わるはずです」。

逸見さんからのエールに、二人から思わず満面の笑みがこぼれました。けしは、いろいろな系統が混ざっている独自の作風のこけしです。だからこそ挑戦できることも多いと思います」。

「伝統的な工芸品は、少しずつ変化を続けながら受け継がれて今があります。工芸品を作り、届ける立場の私たちは、何を残し、何を変えていくのかを絶えず考え、発信していくことが大切だと思いま



素材であるスギの栽培にはじまる花笠づくりも、後継者不足が課題になっている。次代へつなげるため、逸見さんは社内に花笠の工房を設けるなどし、承継に取り組んでいる。

地域の旬だより

各地からの情報をお届けします。

中学生が建設業の魅力を体感!

村山

昨年10月22日、尾花沢市建設業協会主催で、中学生を対象にした建設業の作業体験会が徳良湖畔で開かれました。体験会には尾花沢中学校と福原中学校の1年生合わせて84人が参加し、建設業協会のスタッフと一緒にドローンや重機（バックホウ）などの操作を体験しました。生徒達は初めての体験でしたが、あつという間に操作を覚え、中にはプロも驚くほど上手に重機で土を掘る生徒もいました。

県内の建設業は、労働者の高齢化が深刻な問題となつており、今後、担い手不足がますます進むこと、社会インフラの整備・維持管理や災害時の応急復旧などに従事する「地域の守り手」としての役割を果たせなくなるおそれがあります。

県では、引き続き建設業協会などと連携し、次世代の担い手確保に取り組んでいきます。



重機操作体験

問い合わせ ◎ 村山総合支庁建設総務課 ☎ 023-621-8408

東京

新年を迎えたこの時期は、本県が生産量日本一を誇る「啓翁桜」を首都圏のホテルやレストラン、場など多くの人が訪れる場所で展示しています。「啓翁桜」は、開花を早める技術によって、冬でも満開の桜を観賞することができ、また、切り枝として長く観賞できるのが特長です。山形県から全国に一足早く春をお届けする風物詩として、薄紅色の可憐な花が、多くの方を魅了します。

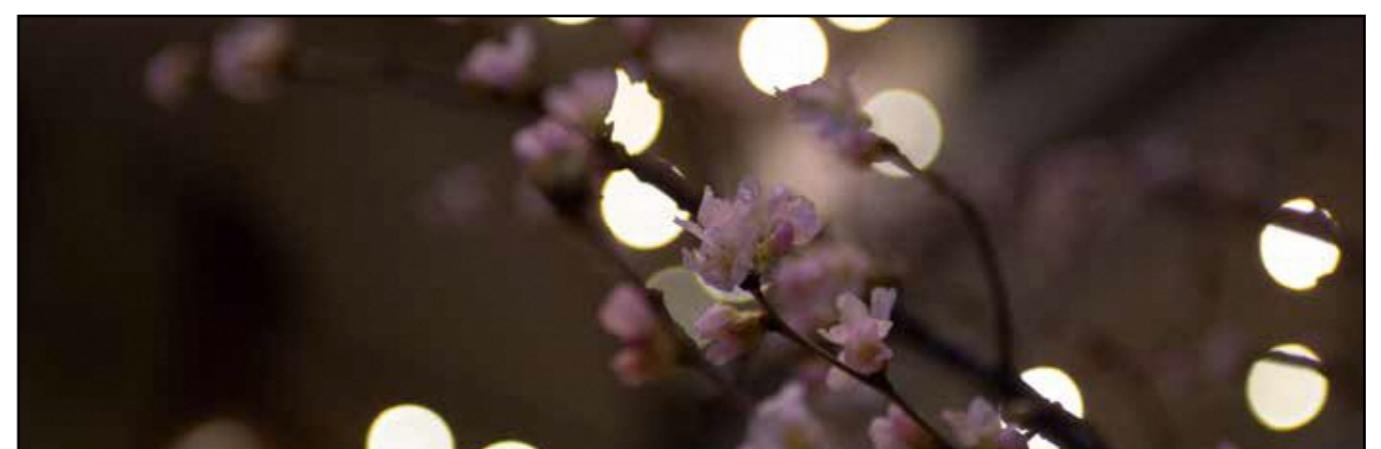
東京事務所では、これからも県産品や本県の観光の魅力を首都圏の皆様に伝えていきます。また、その取組みの様子は、SNSでも発信していますので、首都圏にお住まいの方・親戚の方にもご紹介ください。

昨年の展示の様子
(首都圏ホテル)

Facebookはこちら Xはこちら



問い合わせ ◎ 県東京事務所 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 ☎ 03-5212-9026



首都圏の新春を彩る山形県の「啓翁桜」

きのこの炊き込みご飯



●材料(4人分):

ぶなしめじ 135g、まいたけ 65g、干しいたけ(水で戻した状態) 45g、にんじん 35g、鶏もも肉 200g、お米 2合、お湯 400cc
A(顆粒和風だし 小さじ1/2、しょうゆ・酒各 小さじ2、干しいたけの戻し汁 大さじ4)

●作り方:

- ①きのこ類(ぶなしめじ、まいたけ、干しいたけ)を一口サイズに切る。にんじんを粗いみじん切りにする。鶏肉を一口サイズに切る。
- ②米を洗ってざるにあげ、直径約30cmの耐熱ボウルに入れて分量の湯を注ぎ、Aの調味料を加えて混ぜ30分置き、①の具材をのせる。
- ③ボウルの両端に1cmくらいの隙間をあけてラップをし、600Wのレンジで9分 加熱し、沸騰してきたら弱(150~200W)に切り替え、12分加熱する。
- ④取り出して全体を混ぜて完成。

問い合わせ ◎ 最上総合支庁森林整備課 ☎ 0233-29-1347



●収穫時期:通年

最上地域はきのこ類の県内最大の産地であり、令和5年の生産量は県内の60.1%を占めています。きのこ類は、低カロリーで食物繊維が豊富です。また、多くのきのこ類は、3大うま味成分の一つであるグアニル酸も含み、グルタミン酸(昆布)やイノシン酸(鰹節)と組み合わせることで、うま味の相乗効果を引き出せます。



募集

自治医科大学入学者募集

自治医科大学は、地域の医療を担う医師の養成を目的とし、全国の都道府県が共同で栃木県に設立した大学です。一定の条件を満たした場合、入学金、授業料が免除されます。

◆募集学科 医学部

◆募集定員 全国で123名

◆出願期間 1月6日(月)～22日(水)
午後5時必着(郵送の場合は1月21日(火)の消印有効)

◆第1次試験

学力	期日	1月27日(月)
	会場	県総合研修センター (山形市)
面接	期日	1月28日(火) ※学力試験及第者のみ実施
	会場	県庁(山形市)

◆第2次試験

面接力	期日	2月5日(水)
	会場	自治医科大学(栃木県)

◆出願書類配布場所

県庁(医療政策課)、県内各高校、自治医科大学ホームページ

◆県ホームページにも情報を掲載しております。

詳細はこちらから▶



医療政策課

☎ 023-630-2258

催し物

北方領土パネル展

2月7日は「北方領土の日」。また、2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。各戸舎口ビートなどで北方領土についてのパネル展を開催します。

開催場所	開催期間
最上総合支庁(新庄市)	1月14日(火)～17日(金)
庄内総合支庁(三川町)	1月27日(月)～31日(金)
県庁(山形市)	2月3日(月)～14日(金)
村山総合支庁(山形市)	2月17日(月)～21日(金)
置賜総合支庁(米沢市)	2月25日(火)～2月28日(金)

問 広報広聴推進課 ☎ 023-630-2106

第42回山形県警察音楽隊

定期演奏会

年に1度開催される県警察音楽隊の定

期演奏会です。今回は宮城県警察音楽隊が賛助出演します。年齢を問わず、楽しめるステージです。(入場無料・先着順)

◆日時 1月25日(土) 午後1時30分開演
(開場 午後0時30分)

◆場所 やまぎん県民ホール(山形市)

問 県警察本部広報相談課 ☎ 023-626-0110(代)

マザーズ就職フェア2025

「マザーズ就職フェア」では、子育て中の方の採用に前向きな県内企業約10社と、求人内容や働き方について、直接お話しすることができます。事前申込は不要で、お子様連れも歓迎です。無料の託児もあります。託児を利用する場合は、事前登録をお願いします。

◆開催日 1月23日(木)
午前10時～午後0時30分

◆会場 山形テルサ大会議室(山形市)

◆問合せ先

マザーズジョブサポート山形

●フェアの内容について

☎ 023-646-7360
(マザーズコーナー)

●託児の事前登録

☎ 023-665-5915
(コンシェルジュコーナー)

詳細はこちらから▶



お知らせ

献血にご協力ください

若い世代の献血者が減少しています。「はたち」の若者を中心に、幅広い方々に献血への理解とご協力をいたため、2月末まで「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。献血の申込は下記へ。

献血ルーム SAKURAMBO

住所	山形市香澄町2-2-36 山形センタービル5階
電話	☎ 0120-107-093

予約受付時間
午前9時～午後5時
※ご来場3時間前までに予約をお願いします。

他にも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。

移動献血車の運行状況・予約や献血ルームの詳細については
こちら

問 健康福祉企画課 ☎ 023-630-2332



児童・障がい児(者)に関する各種手当のお知らせ

①児童手当

◆対象 高校生年代までの児童を養育している方

◆支給期間 養育する児童が18歳に達した最初の年度末まで

◆支給月額

児童の年齢	児童1人あたり
3歳未満	15,000円 (第3子以降は30,000円)
3歳以上 高校生年代まで	10,000円 (第3子以降は30,000円)

◆支給月 2・4・6・8・10・12月

②児童扶養手当

◆対象 ひとり親家庭の父母など

◆支給期間 養育する児童が18歳に達した最初の年度末まで(障がいがある場合は20歳に達するまで)

◆支給月額

支給区分	児童1人目	児童2人目以降
全部支給	45,500円	10,750円
一部支給	45,490円～ 10,740円	10,740円～ 5,380円

◆支給月 1・3・5・7・9・11月

③特別児童扶養手当

◆対象 重度～中度の障がいがある児童を在宅で監護・養育している方

◆支給期間 監護・養育している児童が20歳に達するまで

◆支給月額 1級 55,350円
2級 36,860円

◆支給月 4・8・12月

④特別障害者手当(障害児福祉手当)

◆対象 重度の障がいがあり、在宅で生活している方

◆支給月額

障害児福祉手当(20歳未満)15,690円
特別障害者手当(20歳以上)28,840円

◆支給月 2・5・8・11月

申請窓口 各市町村福祉担当課

※いずれの手当も所得制限・障がい程度など一定の要件があり、認定を受けた場合、申請月の翌月分から支給されます。

山形県の人口と世帯数 令和6年11月1日現在(土前月比) 人口総数1,009,762人(-1,014人)・世帯数401,952世帯(+24世帯)

問 ①お住まいの市町村児童手当担当課

②③子ども家庭福祉課

☎ 023-630-2263

④障がい福祉課 ☎ 023-630-2275

蔵書点検のため休館します

県立図書館は、蔵書点検のため下記のとおり休館します。休館中も一部サービスは利用可能です(利用時間は午前9時～午後5時)。

◆休館期間 1月20日(月)～27日(月)

◆休止するサービス

資料の閲覧、貸出、相互貸借、図書宅配、調査相談、複写

◆利用可能なサービス

当日の新聞閲覧(一部新聞に限る)、ビジネスエリアでの学習
※1月20日(月)・25日(土)を除く

◆休館期間中の資料返却方法

図書・雑誌は遊学館正面のブックポストに、視聴覚資料(ビデオ・CD・DVDなど)は遊学館内にある総合案内脇のワゴンに返却してください。

※1月20日(月)は視聴覚資料の返却ができないのでご注意ください。

問 県立図書館 ☎ 023-631-2523

館内電気工事のため休館します

県立博物館は、館内電気工事などのため下記のとおり休館します。期間中は入館ができなくなります。ご理解とご協力をお願いします。

◆休館期間

2月3日(月)～3月3日(月)

問 県立博物館 ☎ 023-645-1111

※2月3日・10日・17日・25日・3月3日を除き電話による問合せは受付けています。

「救急電話相談」をご利用ください

夜間の急病の際に、専門的な知識を有する看護師から、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを受けられる「救急電話相談」を実施しています。ぜひご利用ください。

◆相談日時

毎日午後6時～翌朝午前8時

◆小児救急電話相談(対象:15歳未満)

ブッシュ回線・携帯電話	# 8000
ダイヤル回線・IP電話	023-633-0299

山形県知事選挙および山形県議会議員補欠選挙

投票日 1月26日(日)

【投票時間】午前7時～午後8時 ※一部地域を除く

当日投票ができない方は、
ぜひ期日前投票をご活用ください。



どうなってるの!? みつびしえんぴつ やまがたこうじょう ぜんべん
三菱鉛筆の山形工場 前編

みちか 身近にある鉛筆は、どうやって作られているの?

山形にある国内最大級の鉛筆工場。
高品質な鉛筆を生産し、全国へと届けています。

文房具店でよく見かける三菱鉛筆の鉛筆は、実はすべて、山形県内にある工場で作られています。色鉛筆を含めた生産本数は、国内第1位です。鉛筆を作る工場では、さまざまな機械を使って多くの作業が自動化されています。鉛筆は、黒鉛と粘土から作られる芯と、主に「インセンスシダー(ヒノキ科)」という名前の木を加工した木目が真っすぐな板から作られます。板に9本のみぞをつけて、芯を乗せ、もう1枚の板で挟んで接着した後、削って1本1本を切り離します。次に、鉛筆を湿気から守り、触り心地を良くするために、鉛筆の表面に塗料を7回以上塗り重ねます。その後、鉛筆の両端を削ってきれいに整え、文字の刻印や装飾をつけて、鉛筆のできあがりです。完成した鉛筆は、検査員が見たり、触ったりして、塗装の傷、曲がりなどがないかを確認します。厳しい検査に合格した鉛筆だけが、山形から日本全国へはもちろん、海外へも出荷されます。



一度に9本の鉛筆が切り出されます

接着剤を使い、2枚の板で芯を接着!



お気に入りのキャラクターも鉛筆に!
 熟練の技と感覚で最終確認!

鉛筆を最後に検査するのは「ライン保証」
 検査員。専門のスタッフが、品質管理の重要な役割を担っています。

